

本当の結末

2012/11/25

シリーズ～旧約聖書入門～
最終回

祝福と呪いの契約を破った主なる神

- 主なる神とイスラエルの契約
 - 「見よ、わたしは今日、あなたたちの前に**祝福と呪い**を置く。あなたたちは、今日、わたしが命じるあなたたちの神、主の戒めに**聞き従うならば祝福**を、もし、あなたたちの神、主の戒めに**聞き従わず**、今日、わたしが命じる道をそれて、あなたたちとは無縁であった他の神々に従うならば、**呪い**を受ける。」<申命記11:26～28>
- イスラエルは戒めに聞き従わず、他の神々に従い続け、ついには神殿を破壊され、国を追われた
- しかし、主は彼らを滅ぼさなかった(**呪わなかった**)
 - 祝福と呪いの契約を破ったのは主なる神であったのか？

神は独り子にすべての呪いを負わせた

- 主なる神はイスラエルの民を呪う代わりに、独り子をこの世に遣わし、彼にすべての呪いを背負わせた
 - 「キリストは、**わたしたちのために呪いとなって、わたしたちを律法の呪いから贖い出してくださいました。**『木にかけられた者は皆呪われている』と書いてあるからです。」<ガラテヤ3:13 >
 - 「木にかけられた死体は、神に呪われたものだからである。」<申命記21:23>
- イエス・キリストの**十字架**は、彼が神の呪いを引き受けて下さった証である
 - イスラエルだけではなく全人類の呪いを引き受けた！

神とのつながりの場（神殿）を失った

- エルサレムの神殿は、神が人と交わるために許された唯一の場所であった
 - 契約の箱が安置され、祭司によって犠牲が献げられた
 - 大祭司が年に一度だけ至聖所に入ることが許された
 - 犠牲だけが神に近づく方法だった
- イスラエルは神殿をないがしろにし、2度失った
 - イスラエル人は神殿以外の場所で犠牲を献げた
 - 神殿に異教の神々を奉った
 - イスラエル人は、自分たちには神殿があるから神は自分たちを滅ぼさないはずだ、と高を括っていた

キリストは永遠の神殿となられた

- キリストは【**完全な犠牲**】となられた
 - 「キリストは、…雄山羊と若い雄牛の血によらないで、**御自身の血**によって、ただ一度聖所に入って**永遠の贖いを成し遂げられた**のです。〈ヘブライ9:11-12〉
- キリストは【**永遠の大祭司**】となられた
 - 「この方は、ほかの大祭司たちのように、まず自分の罪のため、次に民の罪のために毎日いけにえを献げる必要はありません。というのは、**このいけにえはただ一度、御自身を献げる**ことによって、成し遂げられたからです。」〈7:27〉
- よって神殿は不要になった！

アブラハムに約束された祝福

- 主なる神はアブラハムに彼の子孫を祝福し、子孫によって地上のすべての民を祝福する、と約束された
 - 「あなたを豊かに祝福し、あなたの子孫を天の星のように、海辺の砂のように増やそう。あなたの子孫は敵の城門を勝ち取る。地上の諸国民はすべて、あなたの子孫によって祝福を得る。あなたがわたしの声に聞き従ったからである。」 <創世記22:17-18 >
- イエス・キリストという子孫によって約束は成就した
 - 「ところで、アブラハムとその子孫に対して約束が告げられました。その際、多くの人を指して「子孫たちとに」とは言われず、一人の人を指して「あなたの子孫とに」と言われています。この「子孫」とは、キリストのことです。」ガラテヤ 3:16

約束されていた新しい契約

「見よ、わたしがイスラエルの家、ユダの家と新しい契約を結ぶ日が来る、と主は言われる。この契約は、かつてわたしが彼らの先祖の手を取ってエジプトの地から導き出したときに結んだものではない。わたしが彼らの主人であったにもかかわらず、彼らはこの契約を破った、と主は言われる。しかし、来るべき日に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこれである、と主は言われる。すなわち、わたしの律法を彼らの胸の中に授け、彼らの心にそれを記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。そのとき、人々は隣人どうし、兄弟どうし、「主を知れ」と言って教えることはない。彼らはすべて、小さい者も大きい者もわたしを知るからである、と主は言われる。わたしは彼らの悪を赦し、再び彼らの罪に心を留めることはない。」〈エレミヤ31:31〜〉

本当の結末

- 独り子の神 (イエス・キリスト) がすべての呪いを背負い、人間には祝福だけを与えられた
 - 神はご自分のなされた約束を「**もっとも悲惨な方法によって**」守られた
- 独り子の神が永遠にして完全な神殿となられた
 - 私たちはどこにいても信仰によって神と結ばれた
- 独り子の神によって彼を信じるすべての人々にアブラハムに与えられた祝福の約束が届いた
 - 「それで、信仰によって生きる人々は、信仰の人アブラハムと共に祝福されています。」ガラテヤ3:9